

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】（第1回）

1. 調査の概要

今後5年以内に具体的な住宅取得に伴い、民間住宅ローンを利用予定の方を対象にして、住宅取得に向けた行動や利用予定の住宅ローンの金利タイプなどに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(6/11～6/12)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:1019件。

2. 調査結果の主なポイント

(1) 「全期間固定型」「固定期間選択型」の希望は増加、「変動型」は減少

- ・ 「全期間固定型」の希望割合は36.2%(前回調査32.6%)に増加、「固定期間選択型」は35.9%(前回調査:32.6%)に増加し、「変動型」は27.9%(前回調査:34.8%)に減少している。 <p.2>

(2) 住宅の買い時意識は上昇

- ・ 今(今後1年程度)は、住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、52.7%に増加し、「分からない」は38.7%に減少、「そうは思わない」は8.6%に減少している。 <p.6,7>

(3) 住宅取得にあたっては「価格・費用」も「耐震性能」も重視する方が増加

- ・ 住宅取得時に特に重視するものを前回調査と比較すると、「価格・費用」「耐震性能」が引き続き上位である。 <p.10>
- ・ 耐震性能重視者の対応は、「耐震性能を高めたい」が最多となっており、前回調査との比較では、「コストアップしても、免震構造の住宅にしたい」が増加している。 <p.11>
- ・ 省エネ性能重視者の対応は、「太陽光発電設備を設置したい」が最多となっており、前回調査との比較では、「LED照明を設置したい」が増加している。 <p.14>